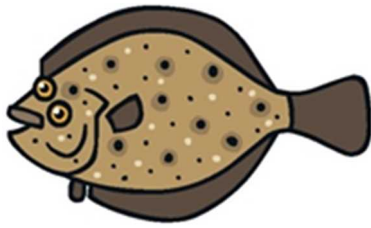


ヒラメ



- ・ 砂浜域に生息し、銚子～富津の沿岸で小型機船底びき網、刺網、定置網などにより漁獲される。
- ・ 1歳で全長35cm、2歳で45cm 体重1kgに成長し、3歳以降は雌雄差が拡大し、5歳では雄が60cm 体重2.3kgに対して雌では70cm 体重3.9kgに達する。
- ・ 産卵期は3～6月。
- ・ 1982年から種苗放流を実施。
- ・ 漁獲量変動・移動特性等から、勝浦市以北は太平洋北部系群、鴨川市以南は太平洋中部系群に区分される。

資源評価

太平洋北部系群
(勝浦市以北)

水準：低位
動向：減少

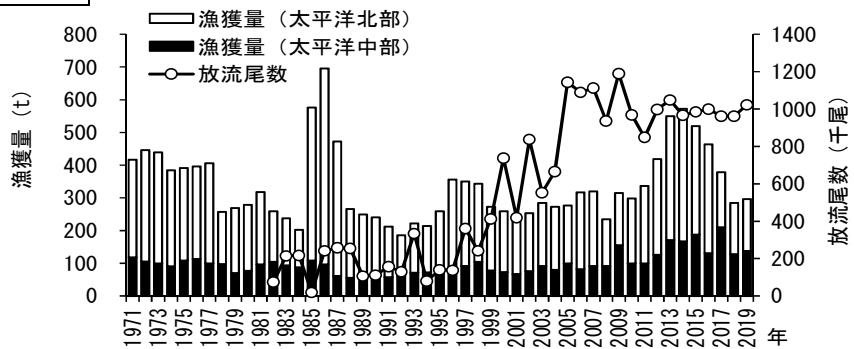


太平洋中部系群
(鴨川市以南)

水準：中位
動向：減少



漁獲量



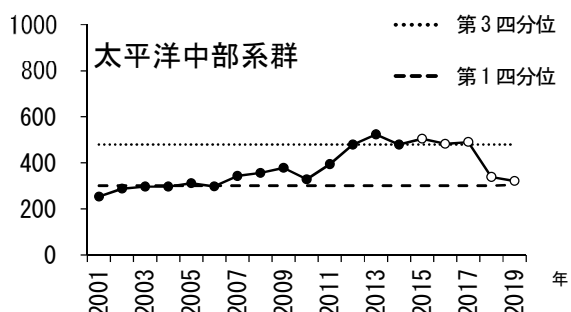
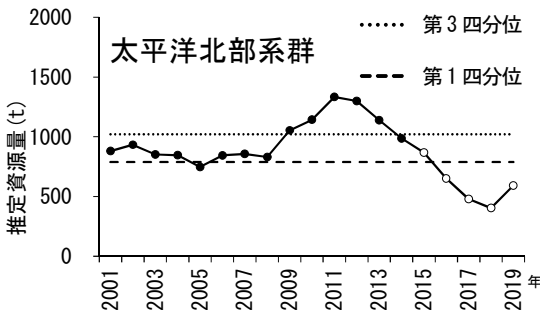
千葉県におけるヒラメ漁獲量と放流尾数の経年変化
(漁獲量は千葉県農林水産統計，漁業・養殖業生産統計)

1971年以降、漁獲量が一時的に増加した1985～1987年及び2013～2015年を除き、300t前後で推移した。2019年は296t。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(資源量)から4分位により評価した。
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は、漁獲物測定、統計から推定される1歳魚以上の資源量で判断した。
- ・ 2019年の資源水準は太平洋北部系群で低位、太平洋中部系群で中位水準にある。最近5年間の資源動向は両系群で減少傾向となった。



太平洋北部系群及び太平洋中部系群における推定資源量の経年変化

資源管理の取り組み

小型魚(全長30cm未満、底びき網は25cm未満)の再放流や漁具設置時間の制限など、漁業者の自主的な資源管理が行われている。また、関係機関が連携し、種苗放流を行っている。